

祈りの言葉

本日、ここに、水俣病犠牲者慰霊式が執り行われるにあたり、謹んでお亡くなりになられました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様方に対しまして心より哀悼の意を表します。

当社は、ここ水俣の地で創業し、以来この地を基盤とした事業活動を続け、水俣市をはじめ、周辺市町村の皆様のご支援をいただきながら、地域と共に歩み、今年で116年を迎えることが出来ました、

しかし、この間、当社の工場廃水に起因する水俣病を惹き起こし、多くの方々が犠牲になりましたこと、また地域の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことは、痛恨の極みであり、ここに衷心よりお詫び申し上げます。

当社は、患者の皆様に対する補償責任の完遂を経営の至上命題に掲げ、必死の努力を重ねてまいりました。そして、この補償責任を果たしていく決意は、今後も決して変わることなく継続してまいる所存です。

世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は収束を見たものの、未だに各方面でその影響がくすぶり続けています。加えて世界各地では幾つもの紛争が勃発しかつ長期化しており地政学リスクも高まっています。これらの影響は中国および欧州などの景気減速に繋がり、世界的な経済の混迷をより一層深める要因となっています。

このような厳しい環境下ではありますが、当社グループにおきましては、収益回復に向けた事業構造改革に取り組むと同時に、水俣病の反省に立ち、常に環境、安全に配慮したもののづくりに努め、豊かで健康的な生活と持続可能な社会の実現に貢献すべく各種の事業活動を精力的に進めております。

中でも、最重要拠点である水俣製造所では、再生可能エネルギーである水力発電の有効活用によるカーボンニュートラルへの取り組み推進や、ライフケミカル製品を始めとした人の健康を担う製品の開発および安定供給に努めることにより、社会的課題の解決に向け積極的に取り組んでおります。

これらの取り組みを通じ、安定かつ持続的な経営基盤の確立に努め、患者の皆様に対する補償責任の完遂と地域社会の発展に貢献してまいります。

そして患者の皆様が安心して暮らしていただけるよう、関係自治体が検討される必要な施策に対しましても協力してまいる所存です。

これらのことが犠牲となられた方々の鎮魂のため、また、国、県、関係各位並びに地域の皆様からのご支援にお応えするための当社の責務であり、これからもより一層の経営努力を重ねてまいりますことをここに誓いし、祈りの言葉といたします。

令和6年 5月 1日

チッソ株式会社 代表取締役社長 木庭 竜一